

令和6年度 羽島市議会 民生文教委員会活動報告書

(令和7年5月12日)

1 所管事項

市民部、生活環境部、健幸福祉部、羽島市民病院及び教育委員会の所管事項

2 重点テーマ（担当委員）

- ・自治体病院の経営改善（堀委員、近藤委員）
- ・給食無償化及び南部学校給食センター建替え（豊島委員長、野口委員）
- ・子育て応援事業（安藤副委員長、安井委員）

3 調査方法、スケジュール

- ・事務事業の状況確認（進捗状況、成果、課題）

市民病院（8/7）、教育委員会（8/22）から状況を聴取し、課題を確認

- ・先進事例調査等
 - ・R7.1.27 子育て応援施策「11の鍵」の状況調査（兵庫県相生市）
 - ・R7.1.28 自治体病院の経営について意見交換（香川県坂出市）
 - ・R7.1.29 学校給食センター整備運営事業の説明と意見交換（岡山県玉野市）
 - ・R7.2.22 市民との意見交換会「市民に親しまれる病院とは」をテーマに実施。
 - ・R7.5.9 学校給食の現状調査（給食の試食含む）

4 市民への報告

- ・令和6年8月に活動計画を市議会ホームページで公表（令和6年12月計画書改定）
- ・令和7年5月に委員会活動報告を市議会ホームページで公表

5 市への提言

- ・令和7年3月、市長へ提言書を提出

6 活動のまとめ

- ・相生市の子育て応援施策「11の鍵」では、人口減少に対する施策が効果を発揮し、社会増の成果が出ている。また、消滅可能都市からも脱し、合計特殊出生率も兵庫県内で1番となっている。厳しい財政状況の中でも学校給食費の無償化と18歳までの医療費無償化は、大きな決断ではあったが、確実に成果、結果が出ている。
- ・坂出市立病院の視察では、公立病院が実施できる経営改善策について詳細に説明を受けた。結果が出ていることから、本市でも参考とし、取り入れる項目が多くあった。できない理由を探すより、できる方法や手法を見つけ、前進する行動力が大事である。市民病院の全職員が病院の経営方針、運営方針等を理解し、実践する体制づくりが求められており、医療分野の特化と医療レベル向上のため、若手医師が望む先端医療機器の導入は必要なことである。また、患者数の増加と市民の求めに応じた午後の外来診察や土曜日の外来診察は実施の必要性を感じた。
- ・玉野市学校給食センターでは、古くなった給食センターを統合して、新たな給食センター建設への経緯と建設や運営の事業方式の説明を受け、その特徴や効果を調査した。また、学校給食への理解を深めるため、市民を対象に試食会や職場体験を実施している。本市では長寿命化計画に沿った施設整備を進めることから、職員の労働環境や衛生面での充実を図っていく必要がある。また、地産地消の推進や学校給食への理解を深めるため、試食会等の実施も検討が必要である。